

# INFORMATION Book

中央公民館  
図書室から  
お知らせです

# ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

## 今月新しく 入りました。

※1月の新刊は、5日(月)からの貸出となります。

### ●一般の本

／遺譜-浅見光彦最後の事件<上><下>(作=内田康夫)／青い光に魅せられて(作=赤崎 勇)／荒神(作=宮部みゆき)／一生に一度は行きたい日本の絶景、癒しの旅100(作=富田文雄)／窓から逃げた100歳老人(作=ヨナス・ヨナソン)／シルバー川柳4

### ●子どもの本

いもむしってね…(作=澤口たまみ)／はこ(作=新井洋行)／盆栽えほん(作=大野八生)／地下鉄のできるまで(作=加古里子)／ひつじのショーンピザがたべたい!(作=アードマン・アニメーションズ)／月へアポロ11号のはるかなる旅(作=ブライアン・フロッカ)

## 中でもこの本が **オススメ** です。

### 物語のおわり

作=湊かなえ



様々な人生の岐路に立たされた人々が北海道へひとり旅をする。そこで手渡されたのはひとつの紙の束。それは、「空の彼方」という結末の書かれていない物語だった。いったい、誰が何のために書いたのか。物語を受け取った人々は、その結末に思いを巡らせるが……。

### きせきのお花畑

作=藤原幸一



花たちはずっと待っていた、砂漠に一年に一度おとずれる奇跡を— 今日しか咲かない花たちの物語。



としよかんのよる  
作=Ror-Lentz Pawlari

ネズミがキツネにおいかけて、逃げ込んで、誰でもない夜の図書館。ネズミは「ししっ!」ここはとくべつなところだから、しすかにして!。図書館なんて知らないキツネは本を見ただけで字が読めない。しかし毎晩やってきては、CDできいて読んだら、くわえてきたニワトリと一緒に「ニワトリの骨は、のどやおなかにはささる」かどうかが、百科事典で調べたり。図書館の利用の仕方をおネズミにおそわりながら、キツネとニワトリは両手にいっぱいの本やCDをかかえて満足気な足どりで、本の楽しさを覚えていこう。



### 書店ガール

作=碧野 圭

ガサス書房吉祥寺店は大手書店。その副店長、西岡理子は、アラフォー独身。反発ばかりする部下の重紀は美人27歳で大手出版社の社員と結婚する。本そのものが売れなくなり地元の本屋も消えてゆく。吉祥寺店も大手ながら苦戦している。店舗存続の危機に、くわえてきたニワトリと一緒に「ニワトリの骨は、のどやおなかにはささる」かどうかが、百科事典で調べたり。図書館の利用の仕方をおネズミにおそわりながら、キツネとニワトリは両手にいっぱいの本やCDをかかえて満足気な足どりで、本の楽しさを覚えていこう。



春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちだからこそ、読みたくなる「旬の本」があります。シリーズ「旬の本だな」。1月は「紙の本」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は金子美代子さん(鞍手町文庫連絡会)です。



／1月の休館日は、1日(木・祝)、2日(金)、3日(土)、7日(水)です。  
／開館時間は午前9時から午後5時まで／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください

# Health

ADVICE

Dr. 長友の

## 調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ  
からの健康  
アドバイスです



この冬、インフルエンザワクチンを接種しましたが、肺炎球菌ワクチンも接種してよいのでしょうか？ (65歳女性)

### 肺炎予防のために

肺炎は日本人の死因第3位で、肺炎による死亡者の95%は65歳以上です。肺炎の予防にはうがい、手洗い、マスクの着用が重要です。その他に重要な予防対策としてインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの接種があります。

肺炎球菌は日本人の死因第3位で、肺炎による死亡者の95%は65歳以上です。肺炎の予防にはうがい、手洗い、マスクの着用が重要です。その他に重要な予防対策としてインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの接種があります。

### 成人用肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌の型は80種類以上あり、現在日本で販売されているワクチンは、そのうちの23種類の型に効果があるとされています。すべての肺炎球菌による肺炎の7〜8割に有効です。このワクチンには肺炎予防効果とともに、肺炎球菌による肺炎になっても軽症で済む、抗生物質が効きやすくなるなどの効果があります。

肺炎球菌ワクチン接種前に、インフルエンザワクチンなどの不活化ワクチンを接種した場合、接種した日の翌日から6日以上の間隔が必要です。例えばインフルエンザワクチンを水曜日に接種すると、翌週の水曜日以降に肺炎球菌ワクチンが接種可能です。

日常生活の中でかかる肺炎(市中肺炎)の原因菌として最も多いのは肺炎球菌です。また、インフルエンザも肺炎を引き起こすきっかけになることがあります。インフルエンザに感染すると、肺の防御機能が

肺炎球菌の型は80種類以上あり、現在日本で販売されているワクチンは、そのうちの23種類の型に効果があるとされています。すべての肺炎球菌による肺炎の7〜8割に有効です。このワクチンには肺炎予防効果とともに、肺炎球菌による肺炎になっても軽症で済む、抗生物質が効きやすくなるなどの効果があります。

肺炎球菌ワクチン接種前に、インフルエンザワクチンなどの不活化ワクチンを接種した場合、接種した日の翌日から6日以上の間隔が必要です。例えばインフルエンザワクチンを水曜日に接種すると、翌週の水曜日以降に肺炎球菌ワクチンが接種可能です。

肺炎球菌ワクチン接種前に、インフルエンザワクチンなどの不活化ワクチンを接種した場合、接種した日の翌日から6日以上の間隔が必要です。例えばインフルエンザワクチンを水曜日に接種すると、翌週の水曜日以降に肺炎球菌ワクチンが接種可能です。



### 【アドバイザー】

長友寛子さん・ながともひろこ 平成2年福岡大学医学部卒業。産業医科大学呼吸器科、福岡東医療センター、霧ヶ丘つだ病院を経て、くらで病院へ平成19年6月より勤務。日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医。

インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを併用することは、肺炎球菌性肺炎の予防に大きな効果があります。65歳以上の人には特におすすめしています。ただし、併用する場合には接種の間隔に注意が必要です。